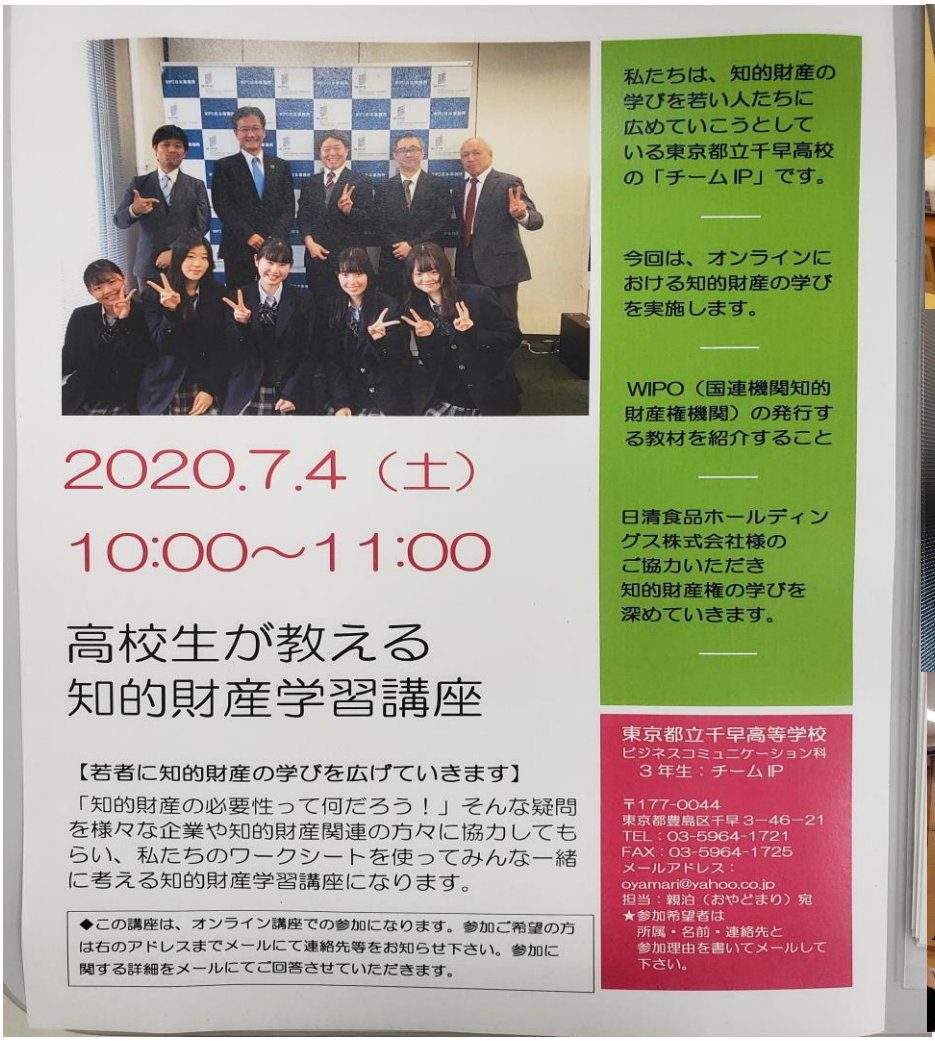
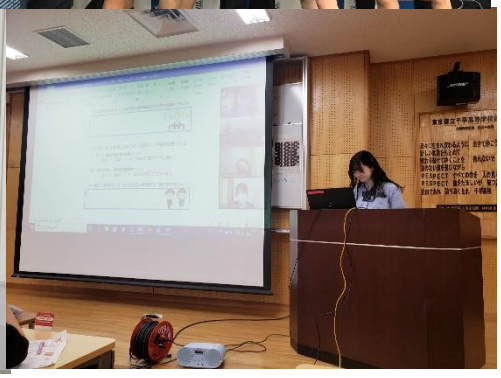
2020 年度　CBP（千早ビジネスプロジェクト）実践報告

千早高校では、国際連合の１４番目の専門機関であるWIPO（世界知的所有権機関）や内閣府知的財産戦略事務局、特許庁、一般社団法人発明推進協会などと連携して、IP教育の推進活動を進めている。その活動を実践報告いたします。





◆CBP（千早ビジネスプロジェクト）の**チームIP**は、昨年度、特許庁の国際知的財産研修にインターンとして参加してから、知的財産権の若者への普及が大切であることを学び、それを**自分たちの手で知的財産の学びを若者に広げていこうと取り組みを開始**しました。活動の中で、**花王やパイロット**などの企業商品を活用したワークシートの作成や同じ高校生への授業なども実施してきました。その活動が認められ、**WIPO（世界知的所有権機関・日本事務所）**所長澤井様より国際イベントに招待されました。しかし、新型コロナウイルス感染症の影響でイベントは中止になりました。しかし、その後も私たちの活動支援をサポートしていただいております。**日清食品ホールディングス**にご協力いただき、安藤百福氏のエピソードを交えた高校生向け授業を 2020 年７月４日（土）に**中央大学付属高等学校の生徒**へ向けてオンラインにて**知的財産学習講座を開催**しました。

千早高校では、IP（知的財産）教育についての探究活動をしています。その活動を外部と連携した形で自分のキャリアをアップさせています。みなさんもぜひ、一緒に探究をしましょう！